

令和2年3月11日

那須烏山市議会議長 沼田邦彦 様

文教福祉常任委員会委員長 滝口貴史

所管事務調査結果報告書

平成30年第3回6月定例会において本委員会が申し出を行った閉会中の継続調査の結果について、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により、次のとおり報告します。

- 1 調査期間 平成30年6月11日から令和2年3月11日まで
- 2 構成委員 滝口貴史、青木敏久、福田長弘、相馬正典、田島信二、久保居光一郎
- 3 調査事項
 - (1) こどもの教育に関する事項
 - (2) 福祉・医療に関する事項
 - (3) 歴史・文化に関する事項
 - (4) その他所管に属する事項

4 調査結果

- ・平成30年6月28日、介護保険制度が毎年改正され複雑化していることを踏まえ、勉強会を行った。健康福祉課から、介護保険制度及び市内の介護サービス事業所の状況について説明を受け、今後ますます増大する課題を改めて感じた。
- ・同日、学校給食センター、烏山放課後児童クラブ、七合保育園の視察を行った。学校給食センターでは、安心安全な食事を作るための方策、アレルギー対策について説明を受けた。烏山放課後児童クラブについては、耐震化されていないこども館での実施が懸念されていたが、平成30年10月から烏山小学校内の空き教室に移転することとなったため、その工事状況及び安全等について確認した。耐震化されていない七合保育園は、公共施設等総合管理計画において用途廃止の方針が決まり、保護者や地域住民との話し合いが行われており、園児やその保護者に過度の負担がかからないよう丁寧な対応を要望した。
- ・平成30年10月30日、宮城県涌谷町の地域包括ケアシステム構築の取り組みについて視察研修を行った。涌谷町では、町民一人一人が「安らかに生まれ 健やかに育ち 朗らかに働き 和やかに老いる」をスローガンに、住み慣れた地域でかけがえの

ない人生を送れるよう、町民医療福祉センターを整備し、保健、医療、介護、福祉を一元化していた。医療福祉連携が大変進んでおり、有意義な研修となった。

- ・翌31日、宮城県東松島市のコミュニティ・スクールの取り組みについて視察研修を行った。コミュニティ・スクールは文部科学省が推進する「地域と共に育つ学校づくり」で、本市でも導入を検討している。先進地である東松島市では、全ての学校でコミュニティ・スクール化が図られており、本市導入に向けて大変参考になった。
- ・令和2年1月30日、静岡県富士市のユニバーサル就労支援事業について視察研修を行った。この事業は、働きたいのに働きづらさを抱えている全ての市民が、働きがいや生きがいを感じて過ごせる地域を目指すものである。議員提案の推進条例の制定により、障がい者やひきこもりの状態にある方等の就労が促進され、事業者は業務分解により効率性を高める成果を上げているとのことであった。刮目すべきは、「こういう人を募集しています」ではなく、「こういう特性の人の出来る仕事はありますか」という逆転の発想にあり、大変参考になった。
- ・翌31日、神奈川県小田原市の二宮尊徳学習事業について視察研修を行った。小田原市では、尊徳翁の事績等を通して、郷土の先人を愛する心を育てるとともに、自己の生き方の一助とするため、市内全ての小学校で二宮尊徳学習事業を行っている。郷土の偉人を知ることは、とりもなおさずその恩を知ることであり、子どもたちのロールモデルとなる偉人教育は、人間形成の根幹をなすものである。尊徳翁は道を示している。「父母もその父母も我身なり われを愛せよ われを敬せよ」本市においてもこのような事業に取り組むことが望まれる。